

容器包装研究会の活動

日本介護食品協議会では、食品メーカーの会員企業が中心となり、普及委員会や技術委員会を設置しています。ここでは、会員各社より選任された担当者が、介護食品業界にある具体的な課題などから各委員会で実施すべき事業を計画し遂行しています。活動概要については以前もこの場でご紹介いたしました。

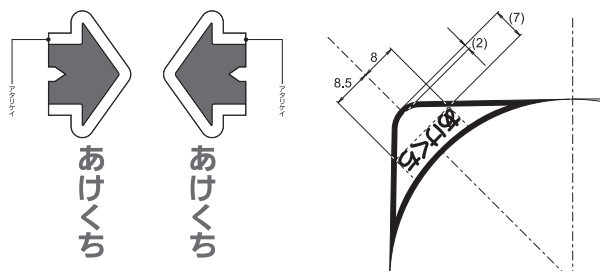
本会には、食品メーカー以外にも容器包装メーカーが加入しておりますが、これらメーカーが参集して容器包装研究会が組織されています。食品メーカーではユニバーサルデザインフード（以下、UDF）の「食べやすさ」の基準を作成・運用していますが、同研究会では、「容器のユニバーサルデザイン」をUDFに付与するべく提案を行っております。具体的には、「UDF自主規格」に「容器包装の設計配慮事項」という項目を設け、UDFに使用する容器の設計について「識別しやすいこと」「開封しやすいこと」「持ちやすいこと」「使用の後に捨てやすく、リサイクルしやすいこと」などの基準について整備を進めています。

これらの課題に対する成果としては、容器包装の開封口識別マーク表示があります。パウチ用の矢印マークについては、現在では市販用の会員各社UDF製品にはほぼ採用されています。成形（カップ）容器用については徐々に採用され始めていますが、いずれも容器包装の開封口を利用者にわかりやすく案内するという観点から、これもユニバーサルデザインの一つと考えています。この発想は、利用者の声として「あけくちが分かりにくい、見えにくい、探せない」などから、明瞭にその箇所を示せるよう提案されたものです。基準化については、識別しやすい形などについて利用者の方々へのアンケート調査結果等を経て吟味を重ねました。売り場でUDFをお手にされる機会がありましたらぜひご覧ください。

現在は、アレルギー原因食品表示や、けがややけどなどの注意喚起のためのピクトグラムについての

基準整備などに取り組んでいるところです。

本会では、中身も容器もユニバーサルデザインを目指して、利用者にUDFを提供できればと考えています。



パウチのあけくち表示

成形容器のあけくち表示（例）

【会議、催事等の予定】

- 12月3日（月）関連3団体連絡会（本会会議室）
- 12月4日（火）第4回普及委員会（オリンピックイン神田会議室）
- 12月12日（水）第4回容器包装研究会（本会会議室）
- 12月19日（水）第5回技術委員会（オリンピックイン神田会議室）

【UDF 商品登録状況（1,986品目・10月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	4	12	0	90	106
冷凍食品	308	251	704	30	0	1,293
常温食品	146	134	186	120	1	587
合計	454	389	902	150	91	1,986

【会員の異動（10月）】

- 新規加入会員1社：味の素冷凍食品(株)
- 計79社（10月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2
 翔和神田ビル3階
 TEL 03-5256-4804
 FAX 03-5256-4805
<http://www.udf.jp/>